



吉林大学哲学社会学院

JILIN UNIVERSITY SCHOOL OF PHILOSOPHY AND SOCIOLOGY

首页 学院概况 学科建设 师资队伍 本科教学 研究生教育 继续教育 学生工作 招生就业 科学研究 党群工作 校友工作 实验室 资料室

师资队伍

优秀人才

哲学系

社会学系

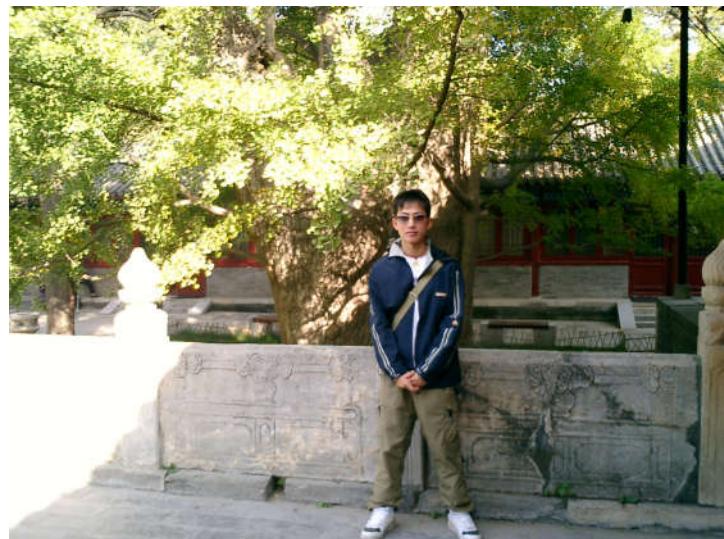
心理学系

劳动与社会保障系

当前位置: 首页 >> 师资队伍 >> 社会学系 >> 正文

李全鹏

2016-11-04 点击 : [2546]



李全鹏 副教授

Email: lizenhou@126.com

● 基本情况

男，1975年生，吉林省人，社会学博士。吉林大学哲学社会学院副教授。

研究方向：环境社会学、教育社会学、环境变化与人的形成

● 主要著作

(共著)《觀光・環境・共生》(朱浩東・鈴木慎一・董士偉編, 日本三一書房, 2006年)。

(共著)《人間形成の課題と教育》(朱浩東・今井康雄・初娜娜・鈴木慎一・董士偉編, 日本三一書房, 2007年)。

(共著)《地球環境の未来を創造する》(島崎隆編, 日本旬報社, 2010年)。

(共著)《教育の情報・共同・共生》(朱浩東・今井康雄・馬憲平・正木健雄・初娜娜・清水拓野・董士偉編, 日本中山出版, 2011年)。

(共著)《問い合わせる彼ら - 生涯学習人として生きる》(日本教育実践検討会編, 教育実践検討会出版, 2012年)。

(共著)《中国都市化の診断と処方—開発・成長のパラダイム転換—》(名古屋大学環境学叢書4, 林良嗣、黒田由彦、高野雅夫編, 日本明石書店, 2014年)。

● 代表論文

《生态园(Biotope)的建设活动》(日本異文化比較教育学会, 比較教育研究, 2006);
 《中国和日本の環境教育比較研究》(日中教育研究交流会議, 研究年报, 2007);
 《制约中国中小学校环境教育发展的深层原因》(一橋社会科学, 2008);
 《日本反公害运动中的学习运动所带来的遗产》(日中教育研究交流会議, 研究年报, 2011);
 《中国汉江流域居民水环境意识的调查—与日本的比较研究—》(共著, 日本环境科学学会, 環境科学会誌, 2012);
 《城镇化临床体系学的课题、研究对象及方法论》(日本环境共生学会第15届学術大会论文集, 2012);
 《日本的公害教育与环境教育—反思现代化进程中的教育功能—》(会议论文, 中国教育学会比较教育分会第十六届年会《论文集·上册》, 2012年)。

● 书评

《儿童地球白皮书2006~07年—给下一代的信件—》(日中教育研究交流会議, 会報15号, 2008年)。

● 译著

1) 岳昇陽「北京宣南地区における文化遺産と観光開発——都市の文化地域の観光開発に関する問題をめぐって——」朱浩東・鈴木慎一・董士偉編『観光・環境・共生』75~87頁、三一書房、2006年。

2) (共译) 孔祥吉「白雲觀をめぐって二三事」朱浩東・鈴木慎一・董士偉編『観光・環境・共生』167~183頁、三一書房、2006年。

3) (共译) Christopher Flavin et al『2007-08 STATE OF THE WORLD—A WORLDWATCH INSTITUTE ON PROGRESS TOWARD A SUSTAINABLE SOCIETY—』(クリストファー・フレイヴィン編著『地球白書2007-08』ワールドウォッチ研究所) 2007年。

4) 和学新「教育における生活の捉え直し」朱浩東・今井康雄・初娜娜・鈴木慎一・董士偉編『人間形成の課題と教育』三一書房、2007年。

5) 楊海蛟「社会公正—政府の責任—」渡辺雅男、一橋大学社会学研究科、清华大学人文社会科学学院、中国社会科学政治学研究所編『中国の格差・日本の格差—格差社会をめぐる日中共同シンポジウム—』彩流社、2009年。

6) 黎加厚「『クラウドコンピューティング』時代と中国の教育情報化の発展」『研究年報20号』日中教育研究交流会議、2011年8月。

7) 李秋紅・支斌「教師と生徒の探究を支えるIT技術—生物授業の事例研究についての再検討—」『研究年報20号』日中教育研究交流会議、2011年8月。

● 工作简历

2010年7月获社会学博士学位（日本一桥大学 社会学研究科）；2010年7月-2014年3月一桥大学社会学研究科（非常勤）博士后；2011年4月-2014年3月 名古屋大学环境学研究科 研究员；2014年7月至今现职。

● 获奖情况

日中教育研究交流会议2006年度 横山宏学术奖（B奖）

上一条：李晓玲

下一条：董运生

吉林大学哲学社会学院 保留网站所有权

地址：吉林市长春市前进大街2699号吉林大学哲学社会学院 邮编：130012